日本キリスト教団 東金教会〔３４〕

2018年８月２６日 聖霊降臨節第１５主日礼拝

年度目標　《繋がれて生きる》

聖　句　わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。　ヨハネ福音書１５章５節

【礼拝式次第】

司式	井上	
奏楽	中村	
受付	三枝	
案内	澤本	
名札係	土屋	
礼拝感謝祈祷	梅田	
〃　〃	藤田	
前奏	中村	
讃美歌 30	一同	
使徒信条 566	〃	
交読文 31	司・会衆	
主の祈り 564	一同	
聖書	コロサイ書1:1～2	司会者
祈祷	井上	
新聖歌 40	一同	
み言葉の伝え	中村	
「神の御心の中で」		
讃美歌 497	一同	
献金		
礼拝感謝	梅田	
〃　〃	藤田	
報告	井上	
頌栄 541	一同	
祝祷(派遣)	中村	
後奏 新聖歌58	聖歌隊	

【集会案内】

聖書研究祈祷会　８月２９日(水)‥休会
早天祈祷会　月-金7時(除祭日)メーヤー館
山田台集会　８月28日(火)午後７時半～
聖書輪読会　９月２日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　９月２日(日)10:25-10:30

【報告】

☆酷暑の八月も何とか守られ、ここまで来ることが出来ました。しかし未だ暑さは続くようです。お身体ご自愛下さい。
☆9月3日(月)より幼稚園第二学期が始業いたします。保育園の働き共々お覚え下さい。
☆9月16日の敬老感謝会お覚え下さい。
☆今年の幼稚園・教会学校合同運動会は９月24日(月・秋分の日振替)、幼稚園グラウンド(雨天の場合は東金中学校体育館)で開催予定です。
☆過日持たれた支区伝道協議会での講演「教会が牧師を迎えること」がCDとなり、当教会では9月9日、10月14日に長老方と共に聞く機会を持つことと致しました。近年支区での牧師交代も多くなり、各個教会において牧師交代の意義を改めて問い、その重大さを教会として確認することの大切さを思ってのことです。
☆千葉支区主催による「房総教会に学ぶツアー」が企画されました。期日は10月8(月・体体育の日)・9日(火)です。参加希望者は9月2日(日)までに中村牧師に申込下さい。

【定期長老会報告】

日時…８月12日　場所…教会事務室
出席…中村牧師　朴牧師　藤田朋子(書記)
安延春彦　足立照光　宮中正信　藤本晴枝
議事…①教会・幼・保行事予定（8/28山田台集会　9/2総員礼拝日　②9/3幼稚園始業　9/4東総分区牧師会-東金教会　9/10千葉支区常任委員会　9/16敬老会祝会-司会・藤本晴枝　9/24(月)教会学校・幼・保合同運動会)　②支区伝道協議会講演記録CDを当教会において聞く件

【次週(９月２日)聖餐式当番者】

配餐者……藤本晴枝・岡村達彦
祈祷者……藤田朋子・戸波義雄

【8月２６日～９月１日の誕生者】

○宇野　姉　○岡村　兄　○児保　姉
○坂本　姉　○黒須　姉　○マシャデアリ・　姉　○池辺　姉　○鈴木　姉

※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(8/19)	12	35	48
聖研祈祷会(8/22)			
聖書輪読会(8/19)	2	1	3
教会学校(8/19)	8	13	21

早天祈祷会			
日	男	女	計
8/20			
8/21	1	1	2
8/22	1	1	2
8/23	1	1	2
8/24	1	1	2

主日礼拝献金(８/１９)……２９,０００円
教会学校献金(８/１９)……６,８８６円

【今日のメッセージ】

題　［神の御心の中で］
聖書　コロサイ書1:1～2

1・異端について

2・神の御心

3・神の恵みのサークルの中に生きる私たち

【次週(９月２日)礼拝案内】

題　〈天に蓄えられている希望〉
聖書　コロサイ書1:3～8
交読文　32
讃美歌　54番　355番
新聖歌　389番

【次週(９月２日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え…中村
司式者…土屋
奏楽者…中里
受付者…王
案内者…梅田
名札当番…井上
礼拝感謝祈祷…森川
〃　〃…薬師寺
cs お話し…藤本
会堂清掃者…幼稚園教諭
〃　〃…
花係…小林
看板書き…澤本

【聖書から】

「家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった。」
マルコによる福音書一二章一〇節

ここでの「石」をユダヤ教では自分たちのために油注がれた者、メシアとして選ばれたイスラエル民族と考えたり、神の民として建てられたダビデ王と考えたりします。小さくされていた者が神に選ばれ用いられたというところから彼らの拠り所となる御言葉でありました。ところがマルコによる福音書十二章、イエスさまのたとえ話で「石」は主イエスを取り囲んでいたユダヤ人、特に祭司長、律法学者、長老たちへの批判のモチーフになっています。彼らが神を侮辱する者だと憤慨し、無価値なものであると退いたイエスご自身が隅の親石であると言い、彼らによって排除されていた人たちが神の民として加えられるというのです。そしてこのたとえ話が自分たちに当てつけて言っていると気づきました。ぶどう園の農夫たちの残忍さ、主人への侮辱と非道なふるまいが自分たちの行動は主イエスを捕えようとすることでした。「気づき」が回心へ向けられることはありませんでした。自分たちの心に生じた「ひっかかり」は立ち返りを求める神の言葉ではなく、イエスを捕え殺すという人、愛する息子がいた。『わたしの息子なら敬ってくれるだろう』と言って、最後に息子を送った〈六節〉と記された御言葉は、忍耐強い愛の神様がすべてを差し出してまで私たちの立ち返りを待っていると示していましたが、彼らが心に留めたのは九節のところでした。自分に対しては愛の神を求めながら神に対しては背くばかりの私たちを救うために隅の親石のなってくださった主イエス。十字架の死と復活によって神と私たちを和解させてくださったその恵みを覚えつつ、忍耐強く私たちと関わり続けてくださる神の愛と聖霊の働きの内に生きるものでありたいと願います。

―八月一九日　朴牧師説教―

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。